

学科名	学年	教科	科目	単位数	教科書	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
普通科	1学年	家庭	家庭基礎	2	家庭基礎 気づく力築く力 (実教出版)						
科目の目標	<p>1 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭、衣食住、消費や環境など、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付ける。</p> <p>2 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想・実践、考察するなど、生涯を通して生活の課題を解決する力を養う。</p> <p>3 様々な人々と協働し、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。</p>										
月・考査等	単元名	評価規準			評価方法	補助教材	指導上の改善点など				
		知識・技能【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】							
4	家庭科を学ぶにあたって										
	第1章 これからの人生について考えてみよう	1節 自分の未来予想図を描こう～生涯発達と発達課題～ 2節 これからの人生をデザインする	・学習の意義や内容、学習方法や評価方法を理解する。 ・自分や人の一生についての考えをまとめることができる。	・人生の各ライフステージの特徴と課題を知り、自分の生活について考え表現できる。	・将来の生活設計を考えることに意欲的に取り組もうとしている。	・ワークシートの作成	・資料集 生活学Navi		○	○	○
5	第2章 自分らしい生き方と家族	1節 自立と共生 2節 ライフキャリア 3節 共に生きる家族	・青年期の自立や男女平等と相互協力について理解している。 ・現代の労働環境、労働時間と生活時間との関係を理解している。 ・家族の多様化や変化する家族の役割について理解できる。	・自分の将来のキャリアや生活の設計を考え、ワークに表現することができる。	・男女共同参画社会など社会の現状について知ろうとする意欲がある。 ・労働に関して関心を持ち、労働と現在の家庭・家族がかかえる課題を見出そうとする。	・ワークシートの作成 ・ワークシートの作成	・資料集 生活学Navi		○	○	○
中間考査											
	第3章 子どもとかわる	4節 家族に関する法律 1節 子どもとは 2節 子どもの発達	・家族に関する法律に関する知識を身につけている。 ・子どもの心身の発達や特徴について理解している。	・家族に関する制度や現代の家族に関する課題をグループワークで討議することができる。	・家庭生活と法律の関係について興味関心を持つようとしている。 ・生命の尊厳を尊重し、自分の生育過程と将来を関連させ、学習しようとする意欲がある。	・グループ討議 ・ワークシートの作成 ・ワークシートの作成	・資料集 生活学Navi		○	○	○
6		3節 子どもの生活 4節 子どもをはぐくむ 5節 子どものための社会福祉	・子育ての意義について理解することができる。 ・子どもの発達段階に応じた社会環境や子供の福祉について理解できる。	・子どもを取りまく環境や地域・国の支援策や課題をまとめることができる。	・子どもを取りまく現状を知り、その課題の解決手段を考えようとしている。	・資料集 生活学Navi ・ワークシートの作成 ・グループ討議	・資料集 生活学Navi		○	○	○
期末考査											
7			・子どもの発達段階を考え、個々に応じて接することができる。	・保育実習を通して、保育の現状と考察をまとめることができる。	・保育実習において、子どもたちに積極的に触れ合い、子どもの特徴を理解しようとしている。	・保育実習 レポート			○	○	○
8	ホームプロジェクト 学校家庭クラブ		・家庭生活に関する課題を見つけ、具体的な解決方法を考え、実践することができる。	・自ら実施した課題と解決方法、その成果についてレポートにまとめることができる。		・レポートの作成			○	○	○
課題テ											
9	第4章 高齢者とかわる	1節 高齢社会に生きる 2節 高齢者を知る 3節 高齢者の自立を支える 4節 高齢社会を支えるしくみ	・高齢社会の現状や課題について考えをまとめることができる。 ・高齢者の心身の特徴や生活の状況について理解している。 ・介護技術や車いす扱い方を理解している。 ・高齢期を支える社会的な制度・しくみについて理解している。	・高齢社会の課題を見つけ、その解決の方向性を導き出すことができる。 ・高齢者の自立した生活とはどのようなものか、自分の考えをまとめることができる。	・高齢者の心身の特徴を理解し、積極的に関わろうとしている。	・ワークシートの作成 ・ワークシートの作成	・資料集 生活学Navi ・DVDの視聴		○	○	○
	第5章 社会とかわる	1節 支えあつて生きる	・社会福祉の意味、現在の社会福祉の状況や社会福祉制度のしくみについて理解できる。	・現在の生活課題と社会福祉や社会保証制度を関連させ考えることができる。	・生涯を通しての社会福祉・社会保障について意欲的に理解しようとしている。	・介護体験 レポート ・ワークシートの作成	・資料集 生活学Navi		○	○	○
10	第7章 衣生活をつくる	2節 共生社会を生きる 1節 人と衣服のかかわり 2節 衣服の素材の種類と特徴 3節 衣服の選択から管理まで 4節 持続可能な衣生活をつくる	・ボランティア活動などの共助の重要性について理解できる。 ・衣服の起源と機能について理解している。 ・衣服の素材の種類や特徴について理解している。 ・衣類の購入から整理・廃棄まで計画的な衣生活を営む知識を身につけている。 ・不要となった衣類の有効利用を衣生活において実践できる。	・衣服の用途によって、適切な衣服素材を判断することができる。 ・衣服整理に関する基礎的な知識を身につけ、衣生活において適切に判断できる。 ・現代の衣生活を取りまく課題を導き出すことができる。	・社会の一員として、地域の活動に興味・関心を持ち、意欲的に参加しようとしている。 ・衣生活の改善・向上に積極的に取り組もうとしている。	・ワークシートの作成 ・ワークシートの作成	・資料集 生活学Navi ・資料集 生活学Navi ・DVDの視聴		○	○	○
中間考査											
	第8章 住生活をつくる	1節 人間と住まい 2節 住まいの文化 3節 住まいを計画する	・住まいの役割・機能について地域の特性を踏まえて理解できる。 ・日本特有の生活様式と、住まいの特徴を理解している。 ・家族構成やライフステージに応じた住まいを考えることができる。	・現代のライフスタイルに応じた住まいについて考えることができる。 ・ライフステージにあった住空間や住環境について考えを深めることができる。	・よりよい住生活の創造に向けて住空間の計画や住環境に関心を持ち意欲的に取り組もうとしている。	・ワークシートの作成	・資料集 生活学Navi		○	○	○
11	第6章 食生活をつくる	4節 健康に配慮した快適な室内環境 5節 安全な住まい 6節 持続可能な住まいづくり 1節 日本の食文化の形成 2節 私たちの食生活	・日照や通風など健康的な住まいの環境についての知識を理解できる。 ・住まいの安全対策を実生活に役立てることができる。 ・現代の住環境の課題について認識することができる。 ・日本の食文化の成り立ちや特徴を理解できる。 ・食事の意義や役割、現代の食生活の課題を理解できる。	・適切な住まいの管理方法を判断することができる。 ・安全な住まいや快適な住環境のための課題解決のための方策を考えることができる。 ・自分の地域の郷土料理について歴史や調理法をまとめることができる。 ・自分の食生活の問題点解決に向けて思考判断することができる。	・科学的な視点を持って、栄養や食品の特性を理解しようとしている。 ・自分の食生活に関心を持ち、自ら家庭の食生活を改善・向上させることの意欲的に取り組もうとしている。	・ワークシートの作成 ・ワークシートの作成 ・ワークシートの作成	・資料集 生活学Navi ・資料集 生活学Navi ・資料集 生活学Navi		○	○	○
期末考査											
12		3節 栄養と食品のかかわり 4節 食品の選び方と安全	・栄養・食品に関する科学的な知識や調理技術を身につけ、食生活に生かすことができる。 ・食品表示の意味を理解し、適切に食品を選択でき、食品衛生に食品を取り扱うことができる。	・栄養機能と食品、食品の特性と調理について科学的に捉えることができる。 ・食品選択、栄養計算や献立作成など食事作りに向けて適切な判断ができる。	・調理実習においては、学んだ知識を生かし積極的に取り組もうとしている。	・ワークシートの作成 ・ワークシートの作成	・資料集 生活学Navi		○	○	○
1	第9章 消費行動を考える	5節 食事の計画と調理 6節 これからの食生活を考える 1節 消費行動と意思決定 2節 消費生活の現状と課題	・栄養・食品・調理に関する基礎的な知識を生かし、献立を作成することができる。 ・自分の消費行動について検証することができる。	・意思決定の過程について主体的に考え、判断することができる。	・消費者の一員としての自覚を持ち消費行動の在り方、消費と環境との関わりについて積極的に理解しようとしている。	・グループ討議	・資料集 生活学Navi		○	○	○
2	第10章 経済的に自立する	3節 消費者の権利と責任 4節 ライフスタイルと環境 1節 暮らしと経済	・現代の消費生活の課題を認識し消費者の権利と責任について理解できる。 ・家庭経済国民経済のしくみを理解し、経済計画の重要性を認識できる。	・消費者としての自覚を持ち、消費者の権利と責任を考慮することができる。 ・将来のライフイベントとその費用を考慮することができる。	・経済のしくみを理解した上で、短期・長期の経済計画に意欲的に取り組もうとしている。	・ワークシートの作成	・資料集 生活学Navi		○	○	○
学年末考査											
3	生活設計	2節 将来のライフプランニング	・経済的な側面から、短期長期の経済設計・生活設計を立てることができる。	・家庭基礎で学んだ知識を生かしこれからの自分の生活設計ができる。		・ワークシートの作成			○	○	○